志津南 news

4月号

志津南ホームページ
https://shizu373.net

志津南学区の人口（2/28 現在）
世帯数 2,631　総人口 6,921 人
前月より ＋３人

発　行
志津南学区まちづくり協議会
TEL 077-563-6206
FAX 077-558-6810
E-mail shizu373@machikyou.jp

令和８年度まち協方向性確認
「地区防災計画」今後も見直し継続

新旧理事が顔を揃えた第６回理事会

志津南まちづくり協議会（四方道治会長）は3月15日、まちづくりセンターで第６回理事会、併せて新旧合同理事会を開催し、令和８年度の方向性を確認しました。

1月の理事会で承認済みの令和８年度へ向けた組織体制、それに伴う会則改定の内容を新理事と共有。更に役員選出、活動計画、予算の各案を審議し、承認されました。

人選を進めていた副会長候補に河辺達也さん（現）、大嶽竜介さん（新）、六反田久美子さん（新）の3人を選出、1月理事会で承認済みの会長候補の四方道治さん（現）と合わせ、正副会長候補が出そろいました。

今後、4月19日の定時総会での承認を経て成立となります。

令和6年度から2年かけて策定を進めてきた志津南学区の「地区防災計画」がこの3月に完成し、市に提出しました。

今回の計画でカバーしきれていない部分については、地区防災計画更新版策定の特別委員会を再編成し、継続して更に改訂を進めていく予定です。

策定した計画は大規模地震を想定し、志津南学区災害対策本部設置と各町との連携・発災直後の住民がとるべき行動・在宅避難に備えた平時の備えなど、共助自助について基本的な事柄を規定しました。が、避難所での対応や情報連携迅速化への施策など、更に議論を深めます。

今後計画を基に、防災への理解を深める勉強会・隣近所で顔の見える関係構築のための防災関連イベントなどに取り組んでいきます。今後もまちづくり協議会運営にご協力ください。

青少年委員募集

青少年育成委員会は、一緒に活動する委員を募集します。

従来、青少年育成委員会が関わってきた「こども110番の家」支援活動が、令和8年度より交通防犯委員会に移管されます。これ以外の活動は、学区全体または草津市に関連するものであることより、青少年育成委員は、今年度から各町内会（自治会）に選出を求めず、公募または推薦による委員で活動することになりました。

主な活動は次の3点です。

①志津南小学校ハートデー参加（登校時の校門前あいさつ）

②「あいさつ運動啓発作品」選考と学区表彰式

③子どもスポーツフェスタ等への協力参加

また新たに、子ども事業を年に数回予定していますので、企画や準備・当日の手伝いなどもお願いすることになります。

もちろん、仕事や家庭優先で、参加できるものだけで結構です。委員同士仲良く楽しく、学区の子ども達のために活動していきたいと思います。

▽問い合わせ先
志津南まちづくりセンター
077（563）6206

人事異動

志津南まちづくりセンターでは3月末で、安澤早苗さんと金馬礼二さんが期間満了で退職。代わって、4月1日付けで池田晶子さんが赴任しました。

▽池田晶子さん（新任）

知らないことが多くご迷惑をおかけするかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

お詫びと訂正

志津南ニュース第270号でご案内した若草一丁目の総会の場所に誤りがありました。

正しくは「若草第一集会所」です。お詫びして訂正します。

すてきな作品がたくさん
（あいさつ運動啓発）

（上）受賞作品

（下）表彰を受ける児童

青少年育成委員会（佐藤恵子事務局長）は2月28日、毎年恒例の「あいさつ運動啓発作品学区表彰式」を志津南まちづくりセンターで行いました。

今年度の応募総数は811点。あいさつを大切に思う絵や、心に響く標語が多く見られました。その中から、最優秀賞1点、特別賞4点、優秀賞6点、入賞6点、学区代表賞（草津市表彰作品）2点を選び、表彰状と副賞を授与しました。受賞者の緊張した表情と喜びの笑顔がとても印象的でした。

受賞されたのは次の方々です。（敬称略　学年は令和7年度）

▽**最優秀賞**　宮上紗空（中1）

▽**特別賞**　平片悠雅（小3）、中島澪（小4）、加藤朱音（中1）、中森圭一郎（中1）

▽**優秀賞**　藤崎桂慈（小6）、宮井蒼太郎（小6）、堀部泰生（中1）、藤田理子（中2）、藤原由羽（中2）、他1名

▽**入賞**　和知遼磨（小1）、塚本佳孝（小2）、五井隆人（小5）、山末瑠椛（小6）、小澤暁人（中1）、末山結都（中3）

▽**学区代表賞**　内藤芽（小4）、芝山樹（中3）

これからも、志津南学区があいさつと笑顔あふれるまちになるよう願っています。おめでとうございました。

冬季五輪にも負けぬ盛り上がり

「やったぁ」とガッツポーズも

スポーツ振興委員会（植木将太委員長）は2月23日、ＡＣＴ草津エースレーンで第9回志津南学区ボウリング大会を実施、小学生9人を含む総勢49人が参加しました。

委員長の開会宣言後、投球練習でウォーミングアップ。小学生の始球式ではたくさんのピンが倒れ、続くゲームに勢いをつけてくれました。

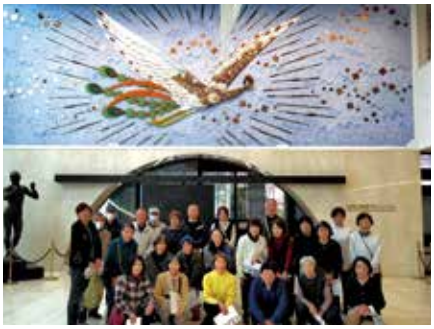
ゲームは小学生の部、女性の部、男性の部に分かれ、それぞれ2ゲームの合計で競いました。

初めてでも楽しめるよう、小学生のレーンにはガター防止柵を用意。また保護者と向かい合うレーンでゲームを楽しめるようにし、家族で一緒に盛り上がっていただけました。

歓声が上がったり拍手が起こったり、うなだれたり、会場はとても盛り上がりました。スナックを食べながらボールを投げる場面も。

閉会式では成績発表をし、各部門別に優勝・準優勝・ハイスコア賞・飛び賞・ブービー賞・頑張ったで賞・当日賞などが贈られ、受賞者は笑顔いっぱいで成績をたたえあいました。

見て感じて考えて



志津南学区社会福祉協議会（河辺達也会長）は2月20日、人権研修として「立命館大学国際ミュージアム」を訪ねました。福祉委員・企画委員・絆スタッフの総勢25人が参加しました。

社協では、地域の皆様に気軽に立ち寄って寛いでいただける居場所づくりに力を入れていますが、福祉活動、支援活動を実施する中で、「平和」な世の中に勝るものはないと実感する昨今、学びを深めるためにと実施しました。

わだつみの像が迎える立派な館内に入ると、ミュージアム理念を象徴する壁面の巨大な「火の鳥」のモニュメントが目に飛び込んできました＝写真。

たくさんの映像、展示物、書物、絵画等に、またボランティアガイドの方の説明に聞き入り、参加者からは「時間が足りない」「ゆっくりと来たい」などの感想が聞かれました。

ミュージアムが掲げるメッセージ「見て 感じて 考えてその一歩をふみだそう」「今、あなたが考える平和とは」。私たちが生かされている今、平和の尊さを改めて実感できました。

元気に杵をふりあげる子ども達

思い出また一つ

若草二丁目防災・防犯ボランティア（橋本優代表）が2月28日、「お餅つきフェスタ」を二丁目集会所予定地で開催しました。子ども15人ほどを含む約60人が参加しました。

毎週夜の防犯見回り・一斉清掃事前草刈り協力に加え、町内会親睦の場を設ける活動の一環としての取り組みで、今年で3回目となります。

前日までに石臼・杵・せいろ等器具の用意やもち米浸水を終え、当日朝は、もち米のせいろ蒸しからスタートしました。

蒸し終えた米からの餅つき・餅丸めを、幼児や小中学生も大人と一緒に体験し、できたての餅をおいしく味わいました。

餅つきの機会も少なくなっていますが、おじいちゃん・おばあちゃん世代の手ほどきで、子どもたちが大人と一緒に楽しむ様子は何よりでした。町内の親睦も深まり、楽しい思い出となりました。

大きくなりました

子ども達の力作

子育てサークル若草おやこっこクラブ（山出聡子代表）は3月5日、まちづくりセンターでお別れ会を開催し、みんなで卒業制作「版画」を楽しみました。

上手にハサミを使えるようになった子、紙をビリビリ破けるようになった子など、みんなそれぞれ大きく成長しました。最後はプレゼントをもらってニコニコの子どもたちでした。

おひなさまを囲んで

若草文庫（村井由美子代表）は3月4日、季節の行事として雛祭りを行いました。

いつも遊んでくれる立命館大学のお兄さん達とお雛様を囲んでハイポーズ＝写真。すぐさま隣の公園へダッシュ、溢れる笑顔で走り回って楽しみました。

若草文庫は、毎週水曜日14時から17時まで、若草第三集会所で本の貸し出しを行っています。学校の休みに合わせて休みとなっていましたが、4月8日から再開します。

4月15日・22日には、立命館大学の学生さん達が遊びに来てくれる予定です。

今年度の活動は4月30日(木)10時にスタートします。ぜひ、お越しください。

今月の志津南文庫

なんとかなる本　令丈ヒロ子　講談社

「なんとかして」と叫んだら、そこは本の木が生える不思議な図書館。困った事態に陥った5人の子ども達。コトバの力でピンチから脱出できるのか。

パズルで名探偵　なぞとき60問　杉山亮　偕成社
ぼくはいったいどこにいるんだ　ヨシタケシンスケ　ブロンズ新社
透明なルール　佐藤いつ子　KADOKAWA
すきだらけのビストロ　冬森灯　ポプラ社
かわいい季節のおりがみ　カミキィ　日本文芸社

他

新しい未来へのスタート

卒業のシーズンを迎え、新生活への期待に胸を膨らませた卒業生たちが学び舎を巣立ちました。

◆言葉と人を磨く

高穂中学校（藤井泰三校長）は3月6日、第42回卒業証書授与式を行い、368人が卒業を迎えました。

校長先生は式辞で、磨いてほしいこととして、「言葉」と「人間」を挙げられました。

他者との違いを認め合い協働していくためには、コミュニケーションすなわち言葉が不可欠である一方、信頼の伴わない言葉は人の心には響きません。言葉を大切にすると同時に、その言葉を発する自分自身の生き方や、人間としての姿勢を磨くことも同じように大切だという言葉が贈られました。

校長先生より証書を受け取る卒業生

◆まっすぐ前を向いて

志津南小学校（丹羽浩之校長）は3月18日、第39回卒業証書授与式を行い、122人が卒業を迎えました。

保護者、来賓、五年生に見守られ、名前を呼ばれた卒業生は緊張しつつも元気に返事をし、壇上で証書を受け取りました。その姿は、凛々しくまた頼もしく希望に輝いていました。

校長先生が「心の豊かさを大切にする」「自分のやりたいことに挑戦し続ける」「命を大切にする」の3つを心に留めておいて欲しいとはなむけの言葉を贈られました。卒業生たちは、この言葉を真摯に受けとめ心に刻んだようでした。

六年生（壇上）と五年生（手前）のよびかけ

六年生・五年生が互いにエールを送り合う「よびかけ」は、事前に合唱指導を受けた甲斐あって、伸びやかに澄み切った歌声が体育館内に優しく響き渡りました。

六年生の「いのちの歌」の最後のフレーズ「ありがとう」は「声をはりあげるのでなく、感謝の思いを込めゆっくり丁寧に」の歌唱指導アドバイス通り、気持ちが伝わる胸をうつものでした。五年生の「大空がむかえる朝」も、六年生への感謝と、これからの志津南小学校を任された力強さがありました。

余韻冷めやらぬ中、卒業生は会場の大きな拍手に見送られ、まっすぐ前を向いて新たな一歩を踏み出して行きました。

◆いい卒業式に

志津南小学校では3月上旬、地域で合唱指導をされている原田孝子先生に来ていただき、卒業式に向け、児童の合唱指導をしていただきました＝写真。

卒業式では、卒業生と在校生が感謝や祝福を言葉にして伝え合う「よびかけ」を行います。「よびかけ」の中で、歌を送り合う場面があり、六年生が「いのちの歌」「旅立ちの日に」、五年生が「大空がむかえる朝」を歌います。式のクライマックスとなる大切な場面です。

先生に、声の出し方や歌詞にこめられた思いをどのように表現するとよいかを丁寧に指導していただきました。また、先生のきれいな歌声も聞かせていただきました。

初めは、照れくさそうに歌っていた子ども達でしたが、回数を重ねるごとに体育館に児童のきれいな歌声が響き、歌声が変わっていくことが感じられました。練習後も気持ちよさそうに歌いながら教室に戻っていく児童の姿が印象的でした。

いい卒業式になりそうです。原田先生、ありがとうございました。

◆ありがとう六年生

志津南小学校では、2月24日からの一週間を「六年生を送る週間」として、五年生が中心となって取り組みを進めました。

昼の放送を「お祝い放送」として、各学年が作った「六年生へ送るメッセージ」を放送しました。また3月2日には、感謝と祝福の気持ちを持って「六年生を送る会」を行いました。

今年度も、全校児童が体育館に集まる形で実施しました。体育館の中央を発表の場として、各学年ごとに六年生の前に立ち、自分たちの学年の発表を披露しました。六年生を目の前にして、緊張しながら発表をした児童も多かったようです。

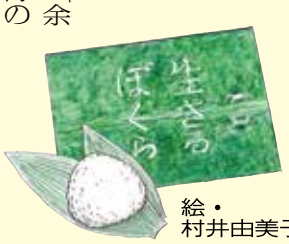
六年生は、発表を楽しんだり、懐かしんだりと、心地よい時間を過ごすことができました。また、いよいよ卒業が近づいてきたことを実感して寂しく感じる六年生もいたようです。

小学校での数々の思い出を胸に、六年生一人ひとりが、中学校でも自分らしく輝いてくれることを願っています。

ソーラン節を披露する４年生

この本イチオシ！

「生きる　ぼくら」
原田マハ



絵・村井由美子

引きこもりの青年が「余命数カ月」という祖母の年賀状に驚いて、蓼科に急行。認知症の祖母手作りの米のおいしさに感動し、米作りを行うことになる。

協力してくれる地域住民の言葉が「生きる、ぼくら。」

祖母の大好きな場所は、東山魁夷の絵で有名な御射鹿池（みしゃかいけ）。深山のイメージがあるが、実際は道路のすぐそばで、大きな駐車場もある。そんなギャップも本読みの楽しみ。

（読書談義）

やすらぎ交通安全講習会

身近な危険に耳を傾ける参加者

志津南まちづくりセンターは２月25日、第９回やすらぎ学級「交通安全講習会」を実施しました。

毎年この時期に実施していますが、今年も草津栗東交通安全協会志津南支部から４人、草津警察署交通第一課の警察官を講師に迎えました。

危険な自転車の取り締まり強化のＤＶＤを視聴後、学区在住の指導員の方々から、身近な道路や交差点等で普段見かける「はっとする場面」「危険行為」について話がありました。

道路交通法改正により今月から開始される自転車の反則金や、自転車の車道と歩道の走行及び横断歩道横断時のルールの説明などがあり、真剣に聞き入っていました。

日常を振り返るよい機会となり、このような学習の時間を持つことの大切さを感じました。

健康推進員募集

健康推進員は、市が実施する一年間の養成講座を受講後、市長から委嘱を受けて地域の健康づくりのお手伝いをしているボランティアグループです。

現在、志津南学区では10人が活動しています。一緒に、楽しく活動しませんか。

▽問い合わせ先
志津南まちづくりセンター
０７７（５６３）６２０６
草津市健康増進課
０７７（５６１）２３２３

志津南小 学校ボランティア募集

地域の皆様には毎日の登下校の見守りや校庭の環境整備等、お世話になっております。ありがとうございます。

登録制の「学校ボランティア」も、地域の皆様のご協力のもと、三年目を無事に終えることができました。多くの方々に参加いただき、子どもたちと一緒に活動したり指導いただいたり、また地域学習の移動の際に、道中の安全のために同行していただいたりしました。

今年度も地域の方のお力をお借りしながら充実した学習活動が送れるよう、新規のボランティアを募集します。

校内での学習や行事のサポート、校区内の徒歩での学習活動の見守りなど、子どもたちと触れ合ってみようとお考えの方、ご都合の合うときに気軽に参加していただきたいと思います。ぜひ登録をお願いします。尚、昨年度までに登録いただいている方々は、改めて手続きをしていただく必要はございません。

お問い合わせは、志津南小学校にお願いします。

（志津南小校長　丹羽浩之）

裁縫学習（五年生）

昔遊び（一年生）

立命館大交流授業

参加者募集

ふれあいハイキング 時をつなぐ歴史旅

志津南まちづくりセンターは、次の要領で各講座参加者を募集します。ご参加ください。

健康講座「ふれあいハイキング」

自然の風景や歴史的な景観を満喫しませんか。蹴上浄水場のツツジが見頃かもしれません。

▽日時　４月25日（土）
▽コース　南草津駅集合→（電車）山科駅→第二隧道入口→旧東海道→蹴上浄水場→蹴上疎水公園（昼食）→インクライン→琵琶湖疎水記念館→京阪三条駅解散
距離約10㎞（３時間）健脚向き
▽参加費　大人２００円
子ども１００円（保険代等）
▽定員　20人
（小学生は保護者同伴）
▽持ち物　弁当、飲み物、電車代
▽募集期間　４月６日（月）～４月18日（土）
▽応募方法　志津南まちづくりセンター窓口（専用用紙）またはメール（必要事項を記入）

◇

教養文化講座「時をつなぐ歴史旅」第１回

▽日時　５月19日（火）
▽行き先　豪商のまち松阪と幻の宮「斎宮」
▽参加費　４０００円（予定）
▽定員　28人
（応募者多数の場合は抽選）
▽募集期間　４月20日（月）～５月９日（土）
▽応募方法　志津南まちづくりセンター窓口（専用用紙）またはメール（必要事項を記入）

共に詳細はホームページでご確認いただけます。

４月カレンダー

ふれあいハウス「絆」の４月予定表は下記のとおりです。急な変更の場合もあります。

なお、４月29日（水）～５月６日（水）は休館とさせていただきます。

	実施日	時間
植物談義	4/1（水）	10:30～11:30
いきいきクラブ	4/2・16（木）	14:00～15:00
手話サークル	4/13・27（月）	10:30～11:30
「絆」ぽこぽこ	4/7（火）	10:30～11:30
家庭菜園談義	4/20（月）	13:00～14:30
音楽を聴く集い	4/21（火）	10:30～11:30
みんなで歌いましょう	4/21（火）	13:30～14:30
読書談義	4/25（土）	13:00～14:00
ちょこっとランチ	4/26（日）	11:00～13:00 ※無くなり次第終了

パソコンの駅

▽パソコンについての相談
▽４月24日（金）、５月23日（土）
13時～16時

手作り紙芝居

コハクチョウのなみだ

今年もコハクチョウが琵琶湖にやってくる。私は志那町をおとずれた。あの群れの中に、一年前釣り糸が絡んでやせ細っていたコハクチョウがいるはずだ。ケガをした時、仲間たちは北へ飛び立っていった。飛べないコハクチョウは雪の降る中、寂しく湖のヨシの陰にいた。

幸い、湖の見回り隊の人に助けられて元気になった。あそこに２羽のコハクチョウが嬉しそうに羽ばたいている。あれはきっと私が描いた紙芝居「コハクチョウのなみだ」の２羽なのかも。

（ぴょんた）